



# 2010年7月期 第2四半期決算説明

2010年3月11日  
株式会社ティー・ワイ・オー  
(JASDAQ:4358)

- **2010年7月期 第2四半期決算のご報告**
  - **連結決算ハイライト**
  - **セグメント別の概況**
  
- **今後の施策**
  - **TYOの強み/弱み**
  - **今後の施策**

# 2010年7月期 第2四半期決算のご報告

# 2010年7月期第2四半期決算 業績ハイライト

## 「減収増益」

不採算事業の撤退等により減収も、コスト削減も寄与し、営業利益・経常利益は増大。  
但し、資産の圧縮等により当期損益は赤字に。

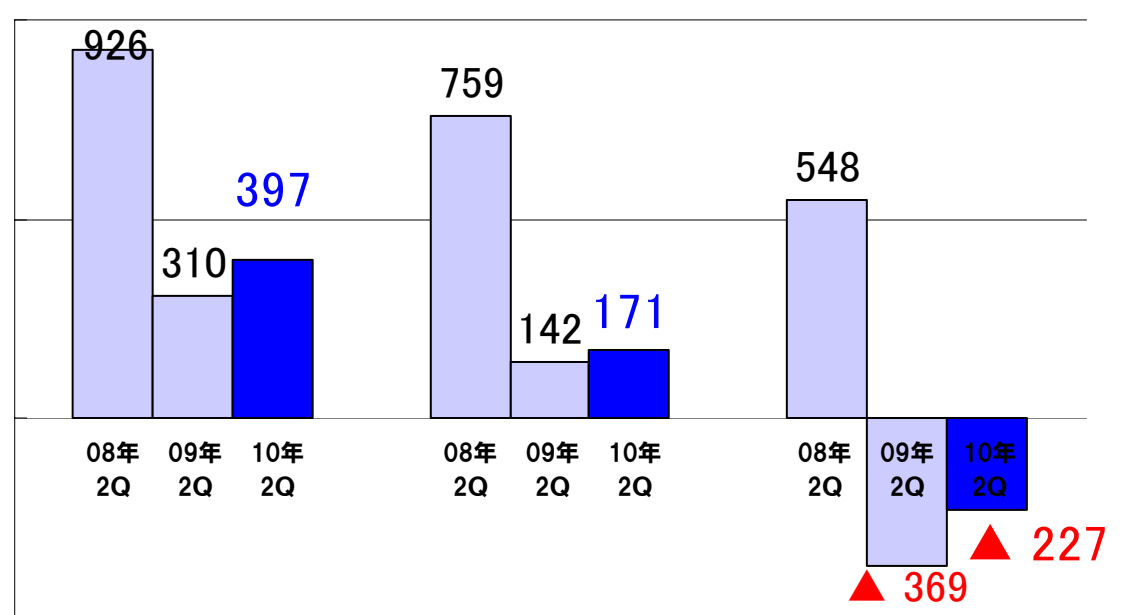
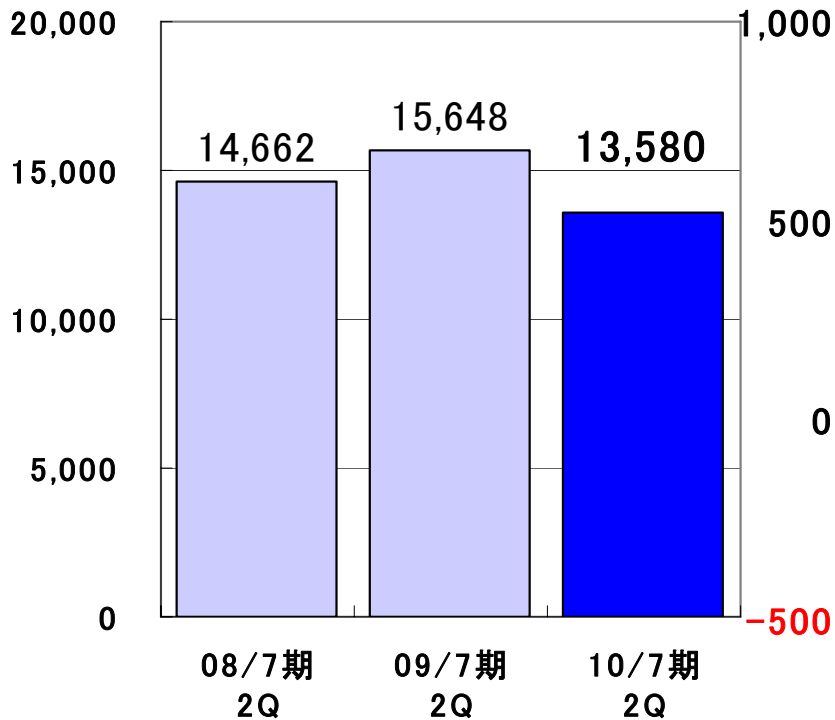
売上高

営業利益

経常利益

当期損益

(単位:百万円)



# 2010年7月期第2四半期決算概要 連結損益計算書

(単位:百万円)

	2009年7月期 第2四半期		2010年7月期 第2四半期		増減額	増減率 (%)
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	15,648	100.0	13,580	100.0	△2,068	△13.2%
売上総利益	3,478	22.2	3,140	23.1	△338	△9.7%
販売管理費	3,167	20.2	2,743	20.2	△424	△13.4%
営業利益	310	2.0	397	2.9	87	28.1%
営業外収益	127	0.8	98	0.7	△29	△22.8%
営業外費用	296	1.9	323	2.4	27	9.1%
経常利益	142	0.9	171	1.3	29	20.4%
特別利益	3	0.0	112	0.8	109	3633.3%
特別損失	88	0.6	190	1.4	102	115.9%
当期損益	△369	-	△227	-	142	-

- ゲーム事業からの撤退
- アニメ事業の縮小
- インターナショナル事業の不調

- 内製化等による原価削減、販管費削減の取り組みで営業利益率改善

- 積極的な不良資産圧縮の取り組み

- 投資有価証券売却による利益計上

- 投資有価証券売却、裁判費用等による損失計上

# 2010年7月期第2四半期決算概要 連結貸借対照表①

(単位:百万円)

	2009年7月期 期末	2010年7月期 第2四半期	増減
<b>流動資産</b>	<b>8,416</b>	<b>9,206</b>	<b>790</b>
現金及び預金	1,808	2,353	545
受取手形及び売掛金	3,529	3,949	420
仕掛、商品、製品等	2,154	2,136	△18
その他	923	767	△156
<b>固定資産</b>	<b>14,548</b>	<b>13,744</b>	<b>△804</b>
有形固定資産	2,737	2,750	13
無形固定資産	6,221	5,990	△231
著作権 ※	4,737	4,688	△49
<b>のれん</b>	<b>1,301</b>	<b>1,169</b>	<b>△132</b>
その他	182	132	△50
投資その他の資産	5,590	5,003	△587
<b>出資金</b>	<b>779</b>	<b>428</b>	<b>△351</b>
長期貸付金	2,669	2,711	42
<b>その他</b>	<b>2,141</b>	<b>1,863</b>	<b>△278</b>
<b>資産合計</b>	<b>22,965</b>	<b>22,951</b>	<b>△14</b>

資産の部

● 不採算子会社の  
のれん一括償却による圧縮

● 一括償却と新規投資の抑制により、  
出資金の圧縮

● 投資有価証券の売却、敷金保証金の返却等

※ 円谷プロダクションの「ウルトラマン」等のキャラクター資産。

# 2010年7月期第2四半期決算概要 連結貸借対照表②

(単位:百万円)

		2009年7月期 期末	2010年7月期 第2四半期	増減
負債の部	流動負債	14,522	15,140	+618
	買掛金	3,031	2,868	△163
	短期借入金	8,817	10,131	1,314
	前受金	961	530	△431
	その他	1,711	1,609	△102
	固定負債	7,043	6,577	△466
	長期借入金	2,367	1,986	△381
	社債	237	140	△97
	負ののれん	531	517	△14
	繰延税金負債	1,928	1,908	△20
	関係会社整理損失引当金	1,368	1,363	△5
	その他	610	660	+50
	負債合計	21,565	21,718	+153
純資産の部	株主資本	303	74	△229
	資本金	1,077	1,077	0
	資本剰余金	1,023	1,023	0
	利益剰余金	△744	△972	△228
	自己株式	△1,053	△1,053	0
	評価・換算差額等合計	△125	△86	+39
	新株予約権	25	34	+9
	少数株主持分	1,196	1,210	+14
	純資産合計	1,399	1,233	△166
負債純資産合計	22,965	22,951	△14	

● 子会社の運転資金のため  
短期借入実施。

⇒ 今後はコスト削減施策により  
負債の圧縮を図る。

(単位:百万円)

	2009年7月期 第2四半期	2010年7月期 第2四半期
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>26</b>	<b>△430</b>
税金等調整前当期純利益	56	93
減価償却費(著作権・のれん含)	329	351
関係会社株式/投資有価証券売買(△は益)	8	△28
売上債権増減(△は増加)	1,357	△424
棚卸資産増減(△は増加)	△309	18
仕入債務増減(△は減少)	△41	△162
法人税等の支払額	△921	△286
その他	△453	8
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△576</b>	<b>218</b>
固定資産売買	△164	△130
投資有価証券売買	-	251
子会社株式売買	△315	-
出資金の払込による支出	△80	△34
その他	△17	131
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>149</b>	<b>758</b>
借入金/社債増減	482	793
新株発行/自己株式増減	△74	-
配当金	△265	-
その他	7	△35

● 堅調な事業の推移により売上債権が増加。

● 遊休資産の売却によるキャッシュの獲得。

● 新規M&Aを実施せず。

● 製作委員会への出資を抑制。

● 子会社の運転資金のため借入実施。

## セグメント別の概況

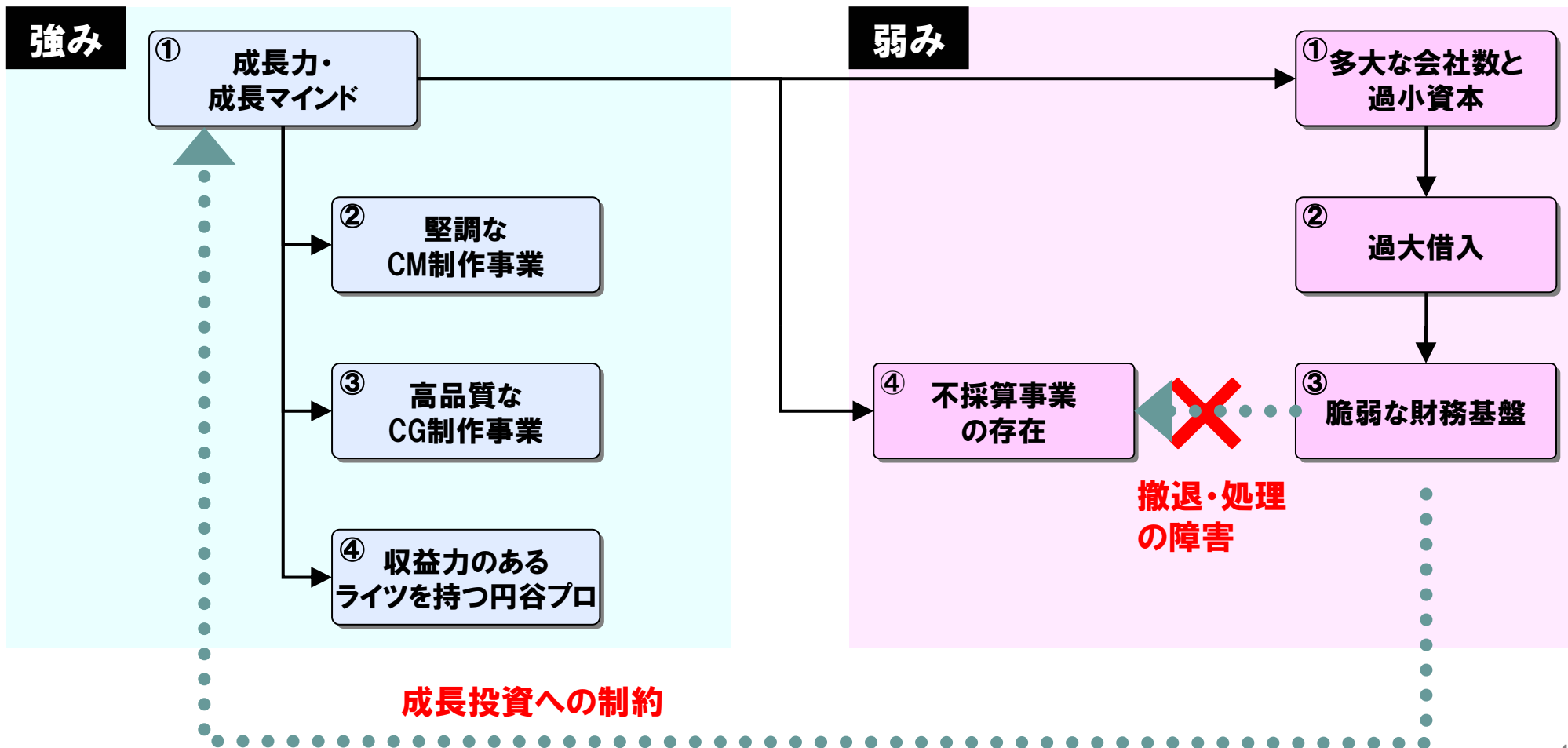
# 2010年7月期第2四半期決算概要 セグメント別売上高・営業利益

セグメント別		2009年7月期 第2四半期		2010年7月期 第2四半期		増減率 (%)		要因・背景
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
広告映像	TV-CM	7,137	411	7,045	445	△1.3%	+8.3%	・大手制作会社への集約傾向、徹底的なコスト削減により、利益増大。
	第二広告	1,393	49	1,248	△0	△10.4%	-	・企業イベント減少や下期への納期ずれこみにより、事業の再構築中。
WEB (国内 + 海外)		1,758	△25	1,648	△63	△6.3%	-	・欧州の景気低迷による受注減。 ・競争力強化の為、再編を実施。
エンタテインメント	CG	1,002	99	932	90	△7.0%	△9.1%	・技術力とブランド力により、安定的な案件確保と利益確保を実現。
	アニメ	798	△42	298	△27	△62.7%	-	・リストラを伴う事業再建や一括償却を完了し、次期以降は好転の見込み。
	キャラクター	2,137	274	2,104	291	△1.5%	+6.2%	・前期数値には達せずも、一定の利益を確保。
	その他	419	△5	238	△43	△43.2%	-	・TV番組制作費等の削減に伴う単価減。 ・リストラを伴う事業再建中。
コンテンツ・ソリューション		739	42	963	75	+30.3%	+78.6%	・CMセグメントの競争力強化に貢献しながらも利益を確保。

(単位:百万円) ※連結相殺前の単純合算数値

## 今後の施策

## 脆弱な財務基盤が成長投資への制約に。



## 【背景(強みと弱み)】

## 【施策】

① 多大な会社数と過小資本

② 過大借入

③ 脆弱な財務基盤

④ 不採算事業の存在

① 成長力・成長マインド

② 堅調なCM制作事業

③ 高品質なCG制作事業

④ 収益力のあるライセンスを持つ円谷プロ

1 **グループ統合**

- ・収益力に見合った納税額に。
- ・キャッシュ・フローの改善。

2 **コスト削減**

- ・人件費等の販売管理費の削減。
- ・業界慣習を破る徹底的な一括仕入⇒原価削減。

3 **選択と集中**

- ・不採算部門/赤字企業のでこ入れ。
- ・強み事業への集中。

4 **負債の圧縮**

- ・上記施策の実施により負債を圧縮、財務基盤の強化を図る。

## グループ統合により、コスト削減・キャッシュ改善を図る。

### 事業計画(施策概要)

- 1 **グループ統合**
- 2 **コスト削減**
- 3 選択と集中
- 4 負債圧縮

### 貸借対照表(連結)

【資産の部】	【負債の部】
現金及び預金	借入金
	【純資産の部】
	利益剰余金

### 損益計算書(連結)

売上原価
販売管理費
法人税等
少数株主損益

#### ① 収益力に見合った納税

- a. 繰越欠損金の有効活用
- b. 赤字・黒字の相殺

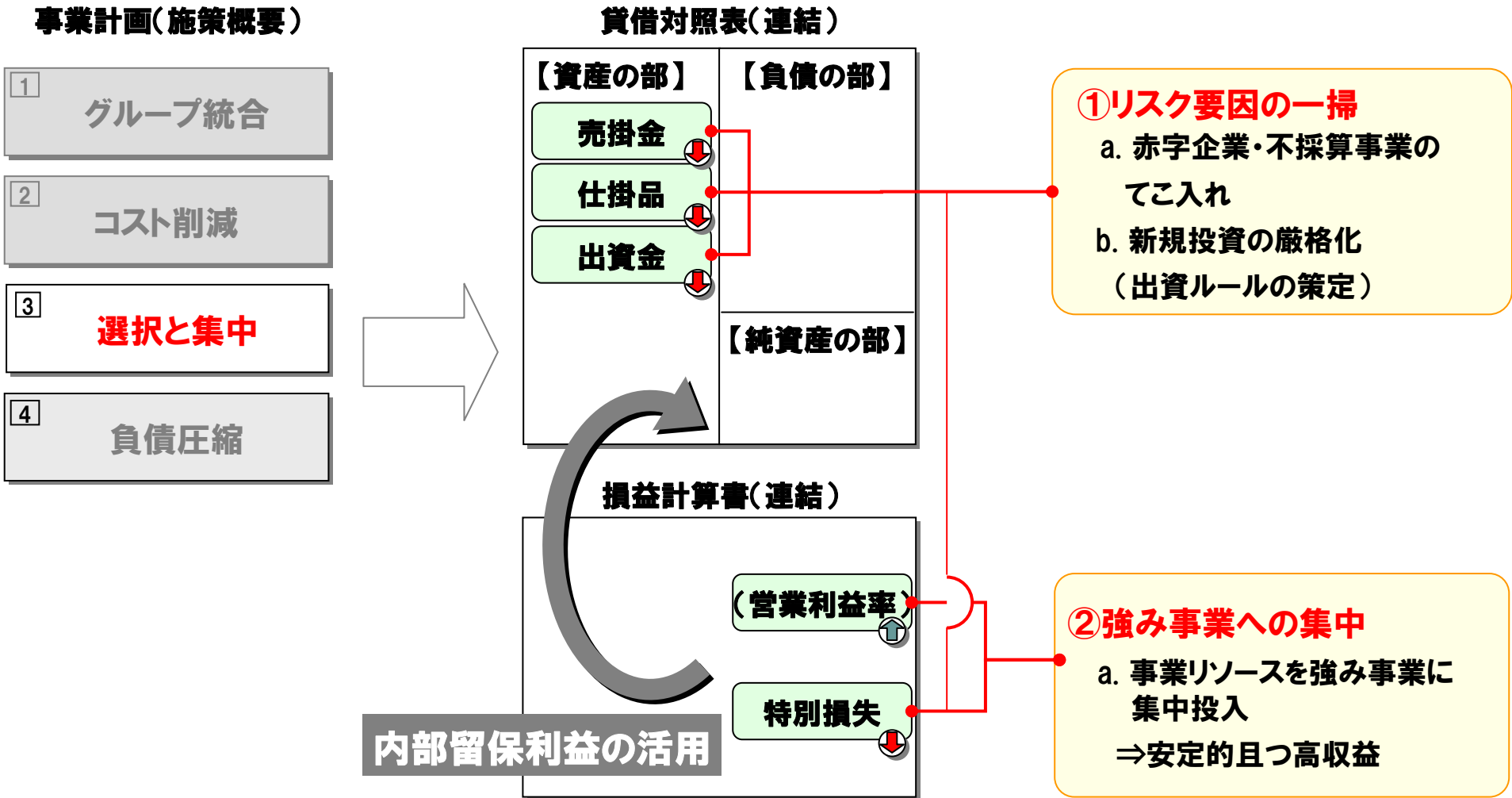
#### ② キャッシュ・フロー改善

- a. 子会社の少数株主への配当金の支払い不要
- b. グループ内資金移動の為の借入減少

#### ③ 集約に伴うコスト削減

- a. 役員報酬削減
- b. 従業員の人件費削減
- c. 接待交際費削減

## 強み事業への集中で、安定的な利益創出。



既に、来期以降 年間 **7** 億円以上のコスト削減が見え、  
負債圧縮に充当していく。

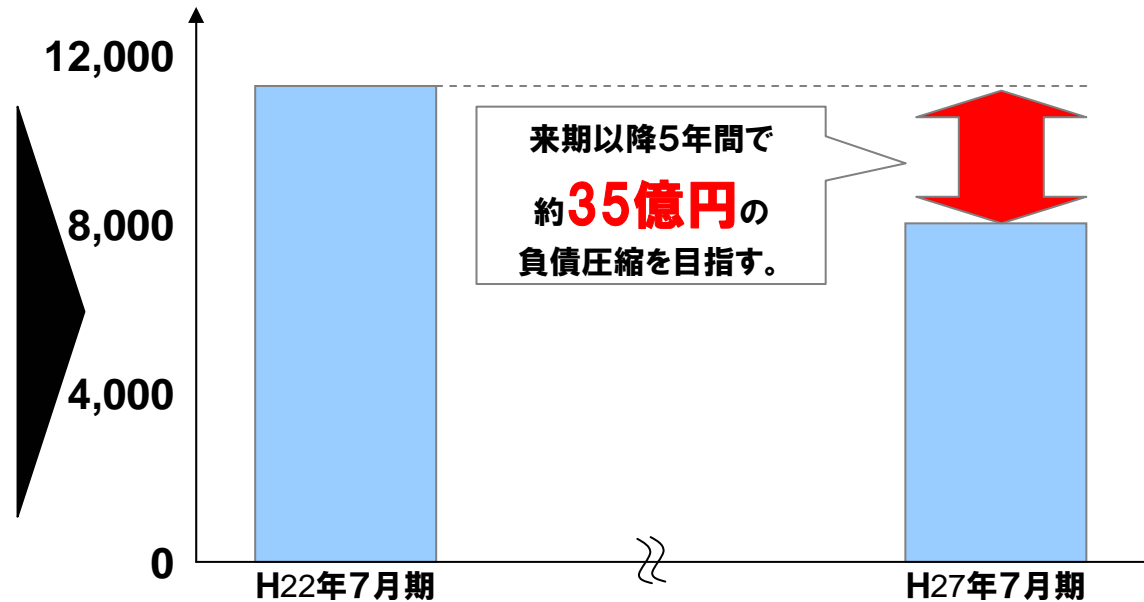
## 【コスト削減目標額】

役員報酬	<b>△3.2億円</b>
人件費及び その他効率化による見直し	<b>△3.8億円</b>
<b>総計</b>	<b>△7億円</b>

※ 09年7月期比較

## 【有利子負債の推移】

(単位:百万円)



■ 会社名	株式会社ティー・ワイ・オー
■ 所在地	東京都品川区上大崎2-21-7
■ 資本金	1,077百万円
■ 設立・上場	1982年4月設立      2002年4月店頭公開(JASDAQ上場)
■ 事業内容	TV-CMを始めとするあらゆる映像コンテンツ制作を主たる業務とする
■ グループ社数・従業員数	34社(当社、連結子会社32社、持分適用会社1社)・918人(持分法適用会社人員は含まず)
■ 株主数	2,914人      ※2010年1月末現在
■ 発行済株式総数	32,611,880株



**本日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。**

本資料は発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

経済状況・市況環境にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が予測数値と異なる可能性があります。

当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

当社は、株主や投資家の方々に、当社についての理解をより一層深めて頂くことを目的としてIR(Investor Relations)活動を行って参ります。また、取り扱う業績結果、財務内容、経営戦略等につきましては迅速、正確かつ公平に開示することを基本姿勢としております。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転用などを行われぬようお願いいたします。

お問合せ先

株式会社ティー・ワイ・オー 経営企画部

TEL 03-5434-1586

E-mail [irwindow@tyo.co.jp](mailto:irwindow@tyo.co.jp)